プレスフィット端子の特徴



メリット

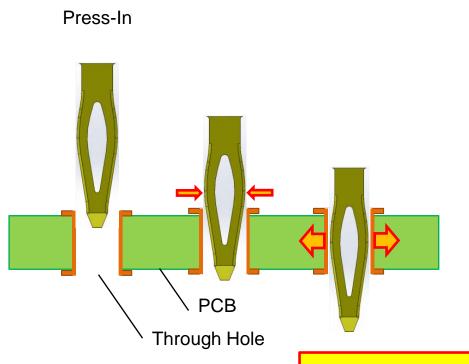
- 基板実装時の後工程が無い。
 - → はんだ付け等の後工程作業が無い。(工程短縮)
- ・環境対応。
 - → はんだ付け工程削減による環境対策に有効。
- ・基板を貫通させて逆側の面もコネクタとして使用可能。
 - → 基板をスタック(積み重ね)して使用可能。
- ・基板への熱的負荷
 - → フローはんだ付け、リフローはんだ付け等の熱的 負荷がかからない。

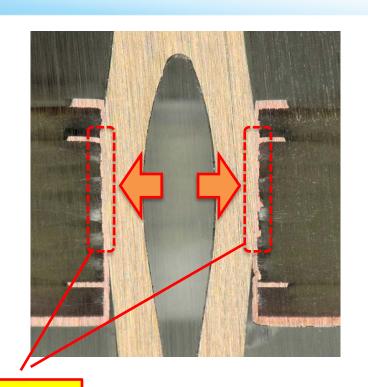
2) デメリット

- ・高密度、狭ピッチコネクタを作るのが困難。
 - **→ 基板スルーホールピッチ及びミーズリングに起因。**
- ・プレスフィットを打ち込むための装置が必要。
 - → 専用冶具(パンチ・受け台)の提案必須。

プレスフィットの接触メカニズム







密着位置 = 導通箇所

プレスフィット端子(ニードルアイ)のばねの反発力で基板の スルーホール内壁に押し当てる接触力が生じる。 この接触力で端子表面と内壁表面が密着し、導通が取れる。

プレスフィット端子開発について



- ・弊社プレスフィット製品はカスタム開発対応となります。
- ・プレスフィット形状は弊社オリジナル形状となります。
- ・プレスフィットのご要求性能を満足させる提案、設計変更等 ご協力させて頂きます。
- ・お客様がご使用予定PCB基板において、プレスフィットの 性能評価対応を実施し評価結果も共有致します。
- ・その他部位(インサート成形品等)の評価試験につきましても ご相談によりご協力させて頂きます。